



遠野市記者発表資料
平成26年2月18日
遠野文化研究センター博物館

遠野市立博物館企画展「新里家のひな人形」について

【発表の要旨】

遠野市立博物館では、遠野町家のひなまつりに合わせて、企画展「新里家のひな人形」を開催します。

【発表の内容】

1 趣旨

遠野南部家の城下町として栄えた遠野の町家には、今も数々のひな人形が伝えられています。かつてはひな市が開かれ、江戸や京都から来る豪華な衣装の下り人形のほか、廉価な遠野産や花巻産の土人形が多く買い求められました。遠野のひな飾りは、ひな人形のほかに五月人形や錦絵なども飾るので、昔はちょっとした美術展覧会のようなものであったと伝えられています。

本展覧会は、本年度に新里家から寄贈されたひな人形を中心に展示し、遠野のひな文化を紹介する機会として、遠野町家のひなまつりに合わせて開催するものです。

2 会期等

- (1) 会期 平成26年2月22日（土）～3月23日（日） 午前9時～午後5時
※3月10日（月）、3月17日（月）は休館します。
- (2) 場所 遠野市立博物館企画展示室（遠野市東館町3-9 TEL0198-62-2340）
- (3) 入館料 一般 300円、高校生以下 150円

3 展示内容

江戸時代から大正時代頃までのひな人形と昭和の五月人形など約100点のほか、道具類などを展示します。

4 その他

博物館分館の2施設でもひな人形の展示を行います。見学は無料です。

- ◇ 会期 平成26年2月22日～3月3日 午前9時～午後5時
- ◇ 場所 遠野蔵の道ギャラリー「土人形のひな展」
遠野城下町資料館「享保雛と芥子雛」

担当	遠野文化研究センター文化課（長谷川・菊池） 電話 0198-62-2340（内線 322）
----	--



遠野市立博物館平成25年度冬季企画展

新里家のひな人形展

遠野の旧家、^{にいさと}新里家から市へ寄贈された江戸時代から大正時代ごろまでのひな人形や昭和時代の五月人形などを展示します。新里家で最後に飾られたのはおよそ30年前。久しぶりのおひなさまたちの晴れ姿を、ぜひ、ご覧ください。




2月22日(土) - 3月23日(日)

3月10日(月)・17日(月)休館 9:00-17:00(入館受付16:30)



遠野市立博物館

一般300円 高校生以下150円 (団体20人以上)一般250円 高校生以下100円

 遠野市立博物館 〒028-0515 岩手県遠野市東館町3-9 ☎0198-62-2340



**こちらでも
展示しています!**

遠野蔵の道ギャラリー「土人形のひな展」、遠野城下町資料館「享保^{きやうほ}ひな^{びな}と芥子^{けし}雛^{びな}」も同時開催。いずれも見学無料です!



待っておるぞ!



自己紹介!



**新里家の
ひな人形?**

寄贈されたひな人形は新里家が江戸時代中頃～昭和時代にかけて購入したものです。ひな人形のほか、五月人形、市松人形などがあり、時代ごとにまとまった種類があるため、遠野で流通したひな人形の変遷を知ることができ、遠野のひな文化の特徴を知る上で貴重な資料です。新里家では当時、旧暦3月3日まで飾っており、学校帰りの近所の子どもたちがよく見に来ていたそうです。